

H14, SUM,

CMnavi

No. 12

(社)日本建設機械化協会

中国支部

第51回支部通常総会開催

社団法人日本建設機械化協会中国支部の第51通常総会は、平成13年6月6日午後1時から、リーガロイヤルホテル広島において開催された。

本部より玉光会長をはじめ評議員、顧問、参与、団体会員等、総数182名の出席があった。

佐々木支部長の挨拶につづき、第1号議案平成13年度事業報告は小笠原企画部会長から、第2号議案平成13年度決算報告は中井事務局長からそれぞれ報告が行われ、平野会計監事から会計監査の結果、公正妥当の旨報告があつて両議案とも異義なく承認された。

第3号議案任期満了に伴う運営委員および会計監事選任については、候補者名簿のとおり選任され総会を休憩して別室での運営委員会で、支部長、副支部長の選出が行われたほか、評議員、顧問 参与の推薦、部会役付者の委嘱、部会幹事の任命等が行われた。

再開された総会で、運営委員会での議決内容が報告された後、第4号議案平成14年度事業計画は小笠原企画部会長から、第5号議案平成14年度収支予算は中井事務局長からそれぞれ説明がありいずれも原案どおり承認可決された。

続いて、本部事業概要について佐々木業務部長、建設機械化研究所から長 技師長から報告があり、午後2時15分総会は終了した。

総会に引続き、平成14年度建設機械優良技術員の表彰に移り、佐々木支部長より表彰状と記念品が贈られ、支部長のお祝いの詞と激励の挨拶があつて終了した。

なお、被表彰者は次のとおりである。

管理部門 9名

大畑 政男 (株)相原組
川口 雄一郎 (株)中国工業
小林 一成 (株)伏光組
濱本 泰隆 (株)沼田建設
原田 哲也 (株)宮川興業
孕石 博之 (株)神岡建設
横山 正士 (株)五洋建設中国支店
森田 栄一 (株)小松建設工業広島支店
巢山 一美 (株)フジタ道路広島支店

運転部門 5名

中川 信一 (株)井木組
錦 織 基樹 (株)大福工業
持田 義之 (株)美保テクノス
屋城 馨 (株)日本道路中国支店
山崎 隆義 (株)まるなか建設

整備部門 4名

石田 義徳 (株)三洋重機
石中 清吉 (株)中国キャブレター三菱建機販売
篠原 輝光 (株)中外企業
松井 哲徳 (株)日立建機広島営業所



創立50周年記念式典を盛大に開催

会員関係者はもとより、主務官庁の中国経済産業局長・中国地方整備局長をはじめ来賓多数を迎え、総数281名の出席のもとに支部長式辞、来賓祝辞に続き会長表彰、会員への感謝状贈呈等創立50周年記念式典がとどこおり無く挙行されました。

記念式典に引続き、記念講演会では「宇宙開発と日本の行方」と題して的川泰宣教授を講師に迎え宇宙開発にまつわる興味深いお話を聞かせて頂くことができました。

最後に記念祝賀会が行われ、昔の思い出話しに花が咲く中に、盛会のうちに終了致しました。

創立50周年記念行事概要

日時 平成14年6月5日(水) 15:00~19:30
場所 リーガロイヤルホテル広島
広島市中区基町6-78

1. 記念式典 (ロイヤルホール F4)

- 開式の辞 (佐々木副支部長)
- 支部長式辞 (佐々木支部長)
- 来賓祝辞 中国経済産業局長
中国地方整備局長
(株)日本建設機械化協会会長
- 祝電披露
- 会長表彰
- 感謝状贈呈 団体会員に対する感謝状 127社
個人に対する表彰 26名
- 閉式の辞 (山本副支部長)



2. 記念講演会 (ロイヤルホール F4)

- 演題 「宇宙開発と日本の行方」
- 講師 文部科学省宇宙科学研究所 的川泰宣 教授

3. 記念祝賀会 (クリスタルホール F4)

- アトラクション (酒樽鏡割)
- 支部長挨拶
- 来賓挨拶 (国土交通省中国地方整備局 前田局長)
- 乾杯 (国土交通省中国地方整備局 浅野間副局長)
- 中締め (名誉支部長 網干広島大学名誉教授)

4. 創立50周年親睦ゴルフ大会

- 日時 平成14年6月6日(木) *式典の翌日
- 場所 広島高原カントリークラブ
- 参加者 46名 (12組)
- 入賞者 優勝 木村博 日本舗道(株) G94 H24 N70
- 準優勝 原野信夫 (株) 鴻池組 G88 H16.8 N71.2
- 3位 白井忠夫 小松建設工業(株) G89 H16.8 N72.2

5. 記念出版物

- 内容 = 「中国支部50年のあゆみ」
- 体裁 = A4判、約151頁
- 出版日 = 平成14年6月5日
- 部数 = 500冊

中国支部創立50周年を迎えて

(社) 日本建設機械化協会 中国支部長 佐々木 康

本日、中国経済産業局長、中国地方整備局長をはじめ関係ご当局、関係諸団体、さらには当協会本部ならびに近隣支部からの多数のご来賓のご臨席を賜り、ここに(社)日本建設機械化協会中国支部の創立50周年記念式典を開催できますことを、光栄に存じ、中国支部の関係各位とともにお慶び申し上げたいと存じます。

また、創設以来、当支部の発展のためご尽力いただいた関係各位ならびに諸先輩の皆々様に、改めて深甚の敬意を表したいと存じます。

ご承知のとおり日本建設機械化協会中国四国支部が創設されましたのは昭和27年8月のことでした。創設時の団体会員は26社でした。その後、昭和54年四国支部の分離独立に合わせて、当支部の名称を中国支部と改めました。50周年を迎えました現在の会員数は187社であります。

この間、中国地方では太田川放水路建設工事、主要国道の改良工事をはじめ、さまざまな建設工事が実施され、近年では温井ダム、本四架橋のしまなみ街道、山陽道高速道路などの大型事業が完成し、地域の発展を支える重要なインフラ施設として供用されております。これらすべての事業が建設機械の進歩と施工の機械化によって成就できましたことは申し上げるまでもありません。

中国地方の特徴として、良質骨材を得にくい地質、雨に弱い花崗岩斜面や地すべり地帯、軟弱地盤などの過酷な自然条件に立地していることに加え、積雪寒冷地を含む多様な気象条件のもとにあることを忘れてはなりません。

これまで、関係ご当局や会員各社のご指導とご協力のもとに、建設機械による施工技術の向上、新機種の開発や普及などを目指し、各種の講習会、研修会、講演会、ならびに「わが社の新技術・新工法発表会」を開催するとともに、



関連の技術基準書、積算規準などの普及に努めてきたところであります。

これらの活動は本日お届けしました「中国支部50年のあゆみ」に記載してございます。

ところでご承知の通り、近年、地球規模での環境問題が顕在化し、緑や自然との共存が大切となり、限りある資源を有効に活用する循環型社会の構築が求められるようになってきました。

本日は、これまでの50年間の活動の系譜をたどるばかりでなく、「建設事業の機械化の推進を図り、中国地域の開発と発展を目的」として設立された当支部の、これからの使命にも思いをいたすべき機会でもあろうかと思えます。

過去50年の間に、わが国は戦後の荒廃したインフラ施設の復興と高度経済成長の時代を駆け抜け、成熟社会へと変貌を遂げました。

さらに国際化と情報化を背景に、社会・経済活動のグローバル化が進展し、活動規範である

価値観にも変化が起こっているように思います。

価値観は、事物に関する知識のみならず人々の置かれた「場」にも影響され、そこでの文化は人々が意識するとしないとに関わらず、各種インフラ施設の整備状況に影響される、ということ忘れてはならないと思います。

この意味で、古代ローマの繁栄は、社会インフラの重要性を認識していた古代ローマ人の考え方に支えられていたという塩野七生さんの指摘に注目する必要があるかと存じます。

新たな日本文化の創造には、インフラ施設の整備と質の向上が欠かせないと云えます。

中国地方の資源は限られてはいますが、知恵を絞り、既存のインフラ施設の多機能化を工夫することによって、持続的な発展の望める、特色ある地域を形成することが出来るのではないかと思います。このための技術が脚光を浴びる時代が来るのではないのでしょうか。

本日は、このあと、建設の機械化とは全く異なる宇宙開発にまつわるお話を、的川先生から聞かせて頂く特別講演を企画いたしております。

異なる分野の技術の現状と将来の展望を学び、これまでの50年を振り返るとともに、21世紀の中国支部の役割を考え、次の50年に向かって決意を新たにしたいと存じます。

ご臨席の皆様方の末永い倍旧のご支援を日本建設機械化協会中国支部に賜りますようお願いいたしまして、式辞といたします。

平成14年6月5日

■ 新任御挨拶

この度、(社)日本建設機械化協会中国支部企画部会長の任を仰せつかりました小笠原です。前企画部会長同様よろしくお願い致します。

さて、当支部は設立50周年を終え、新たな意義ある50年に向けてスタートしばかりであります。

一方、日本経済の低迷が続く中、建設投資の大きな伸びは期待できないなど、建設産業を取り巻く情勢は厳しいものであります。

そういう中で、建設事業の機械化を軸に、建設産業が抱える諸課題の解決のため、支部事業としていろいろ取組みを行わなければならないと考えております。

当支部の運営を図る上では、支部会員の皆様にはご協力・ご支援を賜らなければならず、今後ともよろしくお願い申し上げる次第であります。

企画部会長 小笠原 保

■ 編集後記

中国支部創立50周年記念行事を会員各位並びに関係官庁の協力を得て無事終了することができましたことをこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。

今回は第51回支部通常総会と中国支部創立50周年記念行事を中心にまとめてみました。

今後は会員の皆様が社業発展のために邁進されている内容等も掲載させていただきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

普及部会員一同